



平成 28 年 1 月 13 日

各 位

会社名 イワキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩城 修
(コード番号 8095 東証第一部)
問合せ先 取締役経理財務部長 熱海正昭
(TEL. 03-3279-0481)

(訂正)「平成 26 年 11 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 4 月 10 日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 28 年 1 月 13 日付「過年度の決算短信等の訂正並びに有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、訂正箇所を含め訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



平成26年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月10日

上場会社名 イワキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8095 URL <http://www.iwaki-kk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩城 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 熱海 正昭 TEL 03-3279-0481
 四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第1四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第1四半期	12,544	5.3	190	622.7	170	109.0	57	215.6
25年11月期第1四半期	11,918	△3.4	26	△87.0	81	△67.5	18	△82.6

(注) 包括利益 26年11月期第1四半期 13百万円(△94.0%) 25年11月期第1四半期 231百万円(23.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第1四半期	<u>1.69</u>	—
25年11月期第1四半期	<u>0.54</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第1四半期	<u>35,638</u>	<u>16,692</u>	<u>46.8</u>	<u>494.23</u>
25年11月期	<u>37,569</u>	<u>16,772</u>	<u>44.6</u>	<u>496.55</u>

(参考) 自己資本 26年11月期第1四半期 16,692百万円 25年11月期 16,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年11月期	—				
26年11月期(予想)		3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,000	1.3	400	△16.6	430	△22.2	250	△25.8	7.40
通期	53,000	1.0	1,000	△0.8	1,100	△3.9	650	△12.7	19.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年11月期1Q	34,147,737株	25年11月期	34,147,737株
② 期末自己株式数	26年11月期1Q	372,102株	25年11月期	370,322株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年11月期1Q	33,776,457株	25年11月期1Q	33,785,063株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成25年12月1日～平成26年2月28日）における我が国経済は、政府、日銀による経済政策や金融緩和策の推進により為替の安定、企業業績の回復などが見られ緩やかな回復基調となりました。しかしながら、円安などによる輸入原材料価格やエネルギーコストの上昇など先行きに懸念が残る不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、グループ中期経営計画に基づき、海外サプライヤーとの連携強化、自社企画による商品の開発、安定供給体制確保のための設備投資など、多様化・高度化するお客様のニーズへの対応力強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は125億4千4百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は1億9千万円（同622.7%増）、経常利益は1億7千万円（同109.0%増）、四半期純利益は5千7百万円（同215.6%増）となりました。

次にセグメントの概況につきご報告申し上げます。

【医薬品事業】

医療用医薬品は、後発医薬品使用促進策によりジェネリック医薬品市場が拡大するなか、外皮用剤を中心に大幅に伸長いたしました。また、新製品の帯状疱疹治療薬や尋常性乾癬治療薬は基幹病院をはじめとした医療機関およびその処方せんを応需している調剤薬局への情報提供活動を展開した結果、新規採用が順調に推移いたしました。

一般用医薬品および関連商品は、2月の記録的な大雪による小売店の来客数の減少や商品供給に支障が出るなど消費の伸び悩みもあるなか、風邪やウイルス対策関連商品などの季節品の拡販に注力いたしました。その結果、風邪薬やマスクなどの販売が伸長いたしました。また、主力のドラッグストア向けに新規取扱商品の販売が順調に推移いたしました。一方、提携品は低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は41億9千5百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は8千5百万円（同476.5%増）となりました。

【医薬品原料・化粧品原料事業】

医療用医薬品原料は、抗アレルギー剤原料が低調に推移いたしました。ジェネリック医薬品原料において輸入原料開発チームの活動による新規受注、原料の複数社購買提案や主要顧客への販売好調により全体としては堅調に推移いたしました。

一般用医薬品原料は、主力の血管収縮剤原料が、海外シェア獲得に向けた営業活動に注力した結果、大幅に伸長いたしました。一方、解熱鎮痛剤原料は主要顧客の在庫調整があり低調に推移いたしました。

化粧品原料は、主力販売品の拡大など積極的な営業活動に注力いたしました。その結果、主要顧客向けの原料・受託加工品が好調に推移いたしました。一方、受託の保湿剤・美白剤原料は低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は38億3千万円（同11.1%増）、営業利益は1億8千8百万円（同3.6%減）となりました。

【化成品事業】

表面処理薬品は、国内、海外ともに環境にやさしい製品、高密度パッケージ基板向け新製品の拡販に努めました。その結果、国内ではプリント配線板・電子部品関連薬品やチップ部品向け薬品が好調に推移いたしました。車載部品向け薬品は消費税増税前の駆け込み需要もあり、ハイブリッド自動車向けが好調に推移いたしました。海外ではチップ部品向け薬品およびプリント配線板・電子部品関連薬品がスマートフォン、パソコンや液晶テレビなどの需要の落ち込みから低調に推移いたしました。また、輸入品を中心とした化学品原料は酢酸類や表面処理薬品原料が堅調に推移いたしました。医農薬原料、樹脂添加剤は低調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は18億4百万円（同4.1%増）、営業利益は1千5百万円（前年同期は9千5百万円の営業損失）となりました。

【食品原料・機能性食品事業】

食品原料は、主力の関連会社製品、天然調味料、農産加工品の拡販に努めましたが、輸入原料価格の高騰により、全体としては低調に推移いたしました。

サプリメント原料は、既存の受託加工品の伸び悩みもありましたが、新規顧客開拓、通信販売会社・製造受託会社への美容・エイジングケア原料の提案および自社原料の新規採用に努めた結果、全体としては堅調に推移いたしました。

この結果、当事業全体の売上高は19億2千万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は5千9百万円（同35.3%減）となりました。

【その他の事業】

当事業全体の売上高は7億9千4百万円（同11.3%減）、営業損失は2千8百万円（前年同期は3千7百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産356億3千8百万円（前連結会計年度末比19億3千1百万円減）、負債合計189億4千5百万円（同18億5千2百万円減）、純資産は166億9千2百万円（同7千9百万円減）となりました。

総資産の減少の主な理由は、受取手形及び売掛金の減少25億3千5百万円、電子記録債権の増加3億1千万円、仕掛品の増加2億8千7百万円によるものです。負債合計の減少の主な理由は、支払手形及び買掛金の減少10億2千2百万円、電子記録債務の減少5億7千4百万円、短期借入金の増加3億9千2百万円、未払費用の減少6億2千9百万円、未払法人税等の減少1億2千2百万円、その他の流動負債の増加1億8千1百万円によるものです。純資産の減少の主な理由は、利益剰余金の減少8千3百万円、その他有価証券評価差額金の減少1千8百万円、為替換算調整勘定の増加3千2百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月期の業績予想につきましては、平成26年1月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

① 連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

② 持分法適用の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、メルテックスアジアタイランド社の重要性が増したため、持分法適用の範囲に含めております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,726,527	3,542,665
受取手形及び売掛金	15,113,510	12,578,277
電子記録債権	695,784	1,006,233
商品及び製品	3,194,894	3,362,593
仕掛品	781,613	1,068,812
原材料及び貯蔵品	594,508	699,334
その他	864,020	855,071
貸倒引当金	△45,389	△47,721
流動資産合計	<u>24,925,469</u>	<u>23,065,267</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,026,049	8,104,613
減価償却累計額	△5,428,804	△5,476,952
建物及び構築物(純額)	<u>2,597,245</u>	<u>2,627,660</u>
機械装置及び運搬具	7,339,463	7,340,924
減価償却累計額	△6,676,757	△6,719,172
機械装置及び運搬具(純額)	<u>662,705</u>	<u>621,752</u>
土地	3,412,916	3,412,916
その他	2,604,633	2,575,889
減価償却累計額	△1,872,015	△1,888,990
その他(純額)	<u>732,618</u>	<u>686,899</u>
有形固定資産合計	<u>7,405,485</u>	<u>7,349,229</u>
無形固定資産	351,726	345,096
投資その他の資産		
投資有価証券	3,644,458	3,584,491
その他	<u>1,483,291</u>	<u>1,530,223</u>
貸倒引当金	<u>△240,459</u>	<u>△236,121</u>
投資その他の資産合計	<u>4,887,290</u>	<u>4,878,593</u>
固定資産合計	<u>12,644,502</u>	<u>12,572,918</u>
資産合計	<u>37,569,971</u>	<u>35,638,185</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,413,287	8,390,381
電子記録債務	2,816,336	2,242,034
短期借入金	2,658,000	3,050,000
未払費用	1,268,628	639,192
未払法人税等	237,551	115,169
その他	666,096	847,883
流動負債合計	<u>17,059,899</u>	<u>15,284,661</u>
固定負債		
長期借入金	1,157,500	1,125,000
退職給付引当金	1,655,056	1,648,830
その他	925,337	886,842
固定負債合計	<u>3,737,894</u>	<u>3,660,672</u>
負債合計	<u>20,797,793</u>	<u>18,945,334</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,572,382	2,572,382
資本剰余金	4,206,965	4,206,965
利益剰余金	<u>9,357,952</u>	<u>9,274,657</u>
自己株式	<u>△82,713</u>	<u>△83,100</u>
株主資本合計	<u>16,054,587</u>	<u>15,970,905</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	710,074	691,754
繰延ヘッジ損益	14,993	4,688
為替換算調整勘定	<u>△7,476</u>	<u>25,502</u>
その他の包括利益累計額合計	<u>717,590</u>	<u>721,946</u>
純資産合計	<u>16,772,177</u>	<u>16,692,851</u>
負債純資産合計	<u>37,569,971</u>	<u>35,638,185</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
売上高	11,918,182	12,544,920
売上原価	9,406,733	9,976,198
売上総利益	2,511,448	2,568,722
販売費及び一般管理費	2,485,031	2,377,807
営業利益	26,416	190,914
営業外収益		
受取利息	1,406	1,401
受取配当金	13,324	14,740
受取賃貸料	17,049	21,924
受託研究収入	38,076	—
その他	23,481	15,878
営業外収益合計	93,336	53,944
営業外費用		
支払利息	13,170	10,347
持分法による投資損失	5,498	38,195
賃借料	10,950	11,607
その他	8,751	14,612
営業外費用合計	38,369	74,762
経常利益	81,382	170,096
特別損失		
固定資産処分損	2,521	1,805
特別損失合計	2,521	1,805
税金等調整前四半期純利益	78,861	168,291
法人税、住民税及び事業税	132,545	141,287
法人税等調整額	△71,806	△30,184
法人税等合計	60,738	111,103
少数株主損益調整前四半期純利益	18,122	57,188
四半期純利益	18,122	57,188

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>18,122</u>	<u>57,188</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182,292	△18,910
繰延ヘッジ損益	5,147	△10,304
為替換算調整勘定	25,725	△1,332
持分法適用会社に対する持分相当額	331	△12,687
その他の包括利益合計	<u>213,496</u>	<u>△43,234</u>
四半期包括利益	<u>231,618</u>	<u>13,953</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>231,618</u>	<u>13,953</u>

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原料・ 化粧品原料	化成品	食品原料・ 機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	4,021,800	3,447,775	1,734,302	1,819,147	11,023,026	895,155	11,918,182	—	11,918,182
(2)セグメント 間の内部売上 高又は振替高	19	103,596	—	—	103,615	2,754	106,369	△106,369	—
計	4,021,820	3,551,372	1,734,302	1,819,147	11,126,642	897,909	12,024,551	△106,369	11,918,182
セグメント利益 又は損失(△)	14,790	195,862	△95,748	92,653	207,557	△37,561	169,996	△143,580	26,416

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△143,580千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△140,162千円および棚卸資産の調整額△3,417千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医薬品	医薬品原料・ 化粧品原料	化成品	食品原料・ 機能性食品	計				
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	4,195,199	3,830,422	1,804,622	1,920,559	11,750,803	794,117	12,544,920	—	12,544,920
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	23	161,126	—	—	161,149	205	161,355	△161,355	—
計	4,195,222	3,991,548	1,804,622	1,920,559	11,911,953	794,323	12,706,276	△161,355	12,544,920
セグメント利益 又は損失(△)	85,269	188,756	15,224	59,951	349,202	△28,661	320,541	△129,626	190,914

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等の販売、プリント配線板等の製造プラント、化粧品の製造および販売等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△129,626千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△129,238千円および棚卸資産の調整額△388千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。